



# 愛知陸協広報

第 18 号

22 年 6 月 29 日 発行

## 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目 19 番 16 号千代田ビル 7F  
 電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366  
 e-mail ark@marble.ocn.ne.jp  
 ホームページ: url <http://gold.jaic.org/jaic/member/aichi/>



## 愛知をオリンピック選手の発掘、育成の場へ—22 年度を迎えて

会長 梅村 清弘

わが国の国際的な地位が残念なことに低下してきました。長く誇った世界第二位の経済大国の地位は 22 年度中に中国に奪われることが確実となり、一人当たり GDP、児童生徒の学力、体力など、国際比較でわが国が下降し、転落する項目が増えました。バンクーバー冬季五輪では、韓国の躍進が目撃され、ロシアをはじめ東欧諸国の転落がメダル獲得数にはっきり表れました。明暗を分けたのは、経済もスポーツも当事者や選手の努力、練習量や取り組みの差であることはいまでもありません。国や競技団体など、指導し支える力に大きな差があったことは間違いないでしょう。本年度、ジュニア・ユース選手の全国大会が名古屋市で開かれます。本大会を機に、愛知をオリンピックを目指す若手を発掘し育てていく場にしていくために、汗をかこうではありませんか。

22 年度は役員改選期にあたっておらず、各役職者はこれまで通りの任務を担当、腰を落ち着けて遂行、成果をあげていただくよう期待しております。登録会員も 16,000 人に迫り、愛知県勢の活躍も目立ってきました。21 年度、日本代表として海外に派遣された選手は 10 人を数え、全国高校女子駅伝で豊川高校が 2 連覇を達成するなど、個人・団体が全国優勝者も増えました。将来を期待される選手も出てきて、選手強化の成果も上がってきましたが、まだまだ努力が必要なことはいまでもありません。

本年度、愛知が関わるビッグイベントとして、開催が決まった日本ジュニア・ユース選手権大会は、10 月 15 日から 17 日まで名古屋瑞穂公園陸上競技場で開かれます。愛知陸協は一昨年、女性トップアスリートが参加した第 26 回レディース陸上競技大会、昨年は海外から参加者が加わった第 30 回国際・全日本マスターズ陸上競技大会を主管して開催、成功させた実績がありますが、全国から集まるジュニア・ユース選手諸君が自己ベスト記録を出せるよう、記録本位、選手本位の大会運営を期待しております。本大会は第 1 回を名古屋で開催し、第 10 回大会まで毎年名古屋で開かれましたが、第 1 回出場選手からオリンピック選手が誕生した経緯もあり、若手を発掘してオリンピック選手に育てていく場として期待されております。愛知陸協は 22 年度だけの大会とせず、「愛知のイベント」として、連続開催をめざしております。愛知の選手勢だけでなく、日本のジュニア・ユースのためにも、大会の成功に向けた努力を期待しております。

年度の初めにあたり、みなさまの一層の努力をお願い申し上げます。



## 新年度を迎えて

理事長 外山 幸男

本年度のトラックシーズンは、4 月 10 日・11 日の国体選考強化・普及競技会からスタートし、開幕を待ちわびた選手で延べ 5,000 種目を超える申込があり、活気に満ちた瑞穂公園陸上競技場になりました。選手、審判員の協力で滞りなく終了できました。

アジア大会の選考会でもある、第 94 回日本陸上競技選手権大会には、愛知陸協から男子 20 名 (21 種目)、女子 13 名 (16 種目) が出場しました。その結果、室伏広治選手がハンマー投 16 連覇、室伏由佳選手は円盤投、ハンマー投 2 種目優勝、中田有紀選手は七種競技 9 連覇。アジア大会での活躍を期待します。

去る 5 月 26 日に、平成 22 年度定時評議員会が開催され、平成 21 年度の事業報告・決算が承認され、平成 22 年度の事業計画・予算案も承認されました。登録会員は、15,928 人、公認審判員が 1,007 人の大所帯の愛知陸協です。皆様方のご支援のもとで、さらに協会の発展に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

本年、愛知陸協のビッグイベントは申すまでもなく、10 月の第 26 回日本ジュニア選手権大会・第 4 回日本ユース選手権大会の開催です。愛知国体開催の平成 6 年以来、16 年ぶりに日本ジュニア選手権が愛知に戻ってきました。今回は、高校 1・2 年生が出場できる、日本ユース選手権大会も並行して開催します。地元愛知の選手の活躍を期待するとともに、目標の大会としての取り組みを期待します。登録会員の皆様の全面的な協力のもとに成功させ、愛知開催の固定化に向けて着実な一歩を踏み出したいと考えています。

6 月には東海高校総体、7 月に国立七大学、8 月には西日本医科学生、11 月には東海高校駅伝と県外からの出場者を迎える大会が続きます。緊張した中にも、記録の出る競技会、選手の思い出に残る大会となるよう、審判員の方々の厳正な判定と心配りを願います。

愛知県中学校総体は本年から、長年要請していた 2 日間の開催となり、選手にとっては全国中学選手権出場資格の記録突破の大きな力になることが期待できます。

今年の国体は千葉で開催されますが、実施種目に変更がありました (6 ページ参照)。成年の部に出場の選手は郷土・母校の為に、少年の部に出場の選手は、国体を目指し、活躍することを期待します。

昨年は U-18 (高校生) を対象に JAAF ジュニア発掘育成クリニックを実施し、参加の高校生は大いに刺激を受けました。引き続き、U-15 (中学生) を対象として、今年 12 月 12 日に実施されます。平成 25 年に東海地区で開催予定の全日本中学校総合体育大会の強化にも繋がるものと歓迎します。

本年も、愛知の選手が日本代表として、また全国大会でも活躍することを期待し、登録会員の増加、公認審判員の増加と出席審判員の確保、全国大会レベルの審判技術、財源の安定確保という課題にも取り組んでいきたいと考えています。

また、2 年間を目標に法人化に仕組み、愛知陸協の法人化準備委員会をスタートする予定です。

## 支 部 報 告

## 名古屋支部

4/3、4の第1回支部陸上大会でトラックシーズンの幕が開きました。冬季練習で培った体力・技術を各々が目標とする大会で爆発させ、悔いのないシーズンとなるようがんばってください。そして、県・東海・全国大会へのキップを、一人でも多くの選手が手にすることを期待しています。秋には、全日本ジュニア・ユース大会が瑞穂競技場で開催されます。愛知では久しぶりの全国大会です。ぜひ、標準記録を突破して出場権を得てください。小中高生の奮起を期待します。『人を育てる、選手を育てる』ことは並大抵ではありません。指導者も選手も将来へ夢を託し、地道に精進しています。幸いにも名古屋支部では、競技環境に恵まれ、愛知を代表する選手を数多く輩出しています。

ここで長年に亘る知多地区の指導者協議会を中心とした主な取り組みを紹介します。

- ①知多市ジュニアスポーツ育成講座(3/6)
- ②阿久比町近郊リレーカーニバル(3/13:14年目)
- ③アシックスカップ2010(3/21:17年目)
- ④半田市陸上教室(4/12~:年11回)

これらの活動が良い流れを作り、地域の若者が豊かなスポーツ人生を送っていることに感謝します。これも施設や指導者、教育委員会や保護者の熱意に支えられているからこそです。この取り組みが他の地区にも波及し、相乗効果となって名古屋支部全体の更なる発展につながることを期待します。5/15・16多治見市で開催された中部実業団大会では、個人登録を含め名古屋支部関係チームの健闘には、大いに目を見張るものがありました。今後ますますの活躍に期待しています。

## 1 今後の予定(8~11月)

- ①8/21・22(土・日) 名古屋市民スポーツ祭(瑞穂)
- ②8/28(土) 第3回名古屋支部陸上大会(知多)
- ③9/20・25(祝月・土) 名古屋支部中学新人大会(瑞穂・知多)
- ④10/30・31(土・日) 名古屋支部選手権(瑞穂)
- ⑤11/13・14(土・日) エブリバディデカスロン大会(知多)

2 名古屋市民スポーツ祭の申込方法が、個票・一覧表方式からデータ方式に変更されます。

(坂井田醇三)

## 尾張支部

## 22年度の活動について

平成22年度の尾張支部の活動は以下の通りである。(今号の発行日には6月までの大会はすでに終了している)各競技の要項については平成22年度尾張支部要覧に掲載されている。詳細については尾張支部担当原川までご照会ください。

月	日(曜日)	大会名	申込締切日	組み合わせ会議
4	3(土)・4(日)	第1回支部記録会	3月20日(土)	3月23日(火)
5	1(土)~3(月)	高校総体陸上尾張支部予選会*	4月9日(金)	4月13日(火)
6	5(土)	小学生リレー大会	5月20日(木)	5月22日(土)
	6(日)	中学混成西尾張予選会	中学の大会は 5月19日(水)	
	5(土)・6(日)	県選手権支部予選・ 中学通信西尾張予選		

7	3(土)	西尾張中学総体*	6月17日(木)	6月18日(金)
7	24(土)・25(日)	知多・尾張高校1年生 ジュニア大会*	6月25日(金)	6月29日(火)
8	21(土)・22(日)	第2回支部記録会	8月3日(火)	8月7日(土)
9	11(土)・12(日)	高校新人尾張支部予選会*	8月20日(金)	8月24日(火)
10	2(土)・3(日)	尾張陸上競技選手権大会	9月14日(火)	9月18日(土)
	2(土)	西尾張中学新人大会		
1	23(日)	尾張駅伝競走大会	1月10日(月)	1月11日(火)

## ※組合せ会議

- ・場所…愛知県一宮総合運動場会議室(TEL 0586-77-0500)
- ・時間…(火)は18:00~(土)は17:30~

注) \*の大会の組合せ会議については、主催者(高体連尾張支部、中体連西尾張等)で会場、時刻等を決定するので、必ず確認すること

昨年競技場の完成を見、中・高校生をはじめ、競技関係者の士気はシーズン早々から高いレベルにある。昨年の小学生の全国大会出場、中・高校生の県レベルの大会での活躍、そして全国へ駒を進めるなど選手諸君の競技レベルが向上した。また、支部の中・高校生をはじめとする登録競技者の増加、あわせて一般の競技者登録も増加傾向にある。

今後の課題としては、指導者の質の向上と各種練習会や指導者講習会の開催など、各方面からの要望を生かした事業展開が挙げられる。

また、愛知県一宮総合運動場陸上競技場の施設・設備・備品等の整備充実の課題もある。

- 1 ハンマーサークルの安全対策
- 2 各種設備・備品の3種以上の公認競技場としての整備拡充など、県当局を含め予算面、補修、整備等行政と歩調を合わせて充実していく必要がある。

さらに、競技場の使用マナーや観覧席・応援席の不適切な場所取りの禁止等、ルール作りや利用者のモラルの向上といった課題も山積している。これらの課題も遅滞なく、漸次改善していかなければならない。陸上を愛し現役として活躍が期待される選手諸君はもとより、OB各位、学校関係者・指導者の皆様方、また高い関心を示され、いつも応援に駆けつけてくださる保護者の皆様方にもさらなるご理解とご支援をいただき、ますます尾張支部が他地区に負けないような成果が上げられますよう、よろしくお願い申し上げます。(原川 豪)

## 西三河支部

## 岡崎の「県営グラウンド」

昨年の6月末で公認期間の切れていた県営岡崎総合運動場の陸上競技場が、改修工事も終わり4月から第4種の公認を得て再出発した。県の財政が最悪の状況と言われる中で、第4種ながら公認を継続してもらえたことは喜ぶべきであろう。岡崎に何度も足を運び、その都度適切な助言をくださった県陸協青木実施設用器具委員長に、岡崎総合運動場の中尾守正場長さんから感謝のことが寄せられたほどだ。



西三河には多くの公認陸上競技場があるが、県営としては岡崎が唯一で、県のスポーツ振興財団が運営している。中尾場長さんは総合運動場の管理運営に精力的に取り組ま

## クラブ紹介⑫ 庄内 RT

### 発足

チームが発足したのは平成元年（1989年）。現在のチーム監督である田中博之が中心となってチームを立ち上げた。そのきっかけとなったメンバーが再会した庄内緑地公園がチーム名の由来となっている。

### チームメンバー

チームが発足してから20年余りが経ち、現在では約90名になっている。最高齢は84歳から22歳の若者までと、ランニングが好きな同好の士が集まっており、メンバーの職業は様々である。走力も国際マラソン出場から週末ジョガーまでとさまざまである。走ることが好きで、チームのために何かできる方ならば、誰でも入会することができる。

### 活動時間、場所

チームメンバーはほぼ全員が社会人なので、平日の活動時間は勤務後の夜になる。定例練習会として、毎週水曜日には夜7時40分頃から名城公園の周回コースでスピード練習（インターバル、レペティショントレーニング）を行ない、毎週土曜日には朝8時頃から同公園周回コースで距離走（20～30km）をそれぞれ行なっている。その他の曜日はメンバーが連絡を取り合って練習を行なっている。

### チーム行事

**記録会：**毎月第三日曜日に庄内緑地公園で5kmの記録会を行ない、毎回15名から多いときは40名が集まっている。年末は距離を10kmにしている。ちなみにこの記録会の大会記録は5km14分台である。5月には庄内緑地公園周回コースでミニ駅伝大会を行ない、チームメンバー同士の親睦や市民クラブ間の交流をはかっている。

**夏合宿：**あるメンバーの実家が流葉スキー場で旅館を経営しており、そこを宿泊地として8月中旬に2泊3日の合宿を行なっている。初日の午前は道中の金山清流マラソンコース（30km）を走り、移動。2、3日目はスキー場の起伏を活かしたクロスカントリー（18km）や旅館周辺のロード走（22km）を練習メニューとしている。この合宿は発足時から続けており、練習メニューもほぼ同じであり、自己の走力の経年変化を把握することができる。

### 名岐駅伝への想い

愛知、岐阜の市民クラブの最大の目標は、「名岐駅伝」への出場および出場の継続である。チーム発足当初から「名岐駅伝を目指そう」とチームの目標となっていく。ただ、この駅伝に出場するには予選会（駅伝カーニバル）を突破する必要があるが、毎年挑戦してきたが敗退を繰り返してきた。しかし、平成7年（1995年）に状況が一変する。5000mを14分台で走れるメンバーが3人加入し、あれだけ苦労した駅伝カーニバルで大学勢も抑えて1位となり、翌年の名岐駅伝で初出場を果たした。それから平成22年（2010年）までの15年間連続出場を果たし、翌年のシード権も獲得した。現在の名岐駅伝メンバーに、初出場時のメンバーはもう誰も選ばれてはいないが、その出場当時の熱い想いは次の若手メンバーに確実に引き継がれている。

### 出場レースとその戦績

公認レース（トラック、ロード）や未公認の市民マラソンなど、1年を通じて積極的に多種多様の大会に出場している。公認レースでは、平成21（2009）年において、福岡国際マラソンで、杉山純一が2時間19分42秒（20位）で走り、名古屋国際女子マラソンで、風岡さやかが2時間54分27秒の県勢1位でゴールしている。また中野哲也は、1500mにおいて4分02秒60の37歳での年齢別日本記録（陸上競技マガジン2010年6月号p.190参照）を持っている。

（浅野 清隆）



写真は2009年福岡国際マラソン  
(74番杉山純一)



集合写真

れているが、中でも陸上競技場には特に力を注いでいくことができるように思う。

本年3月22日には県教育スポーツ振興財団の「家族の絆づくり事業」として、「ファミリー陸上競技記録会」（写真）が開催された。支部としては、地元の岡崎から役員として8名が参加し、愛知学院大40名の学生の協力を得て、楽しくスムーズに運営できた。主催者の場長さんは当初の目的を達成することができたと喜んでおられた。

競技場の施設を利用して、この事業の目的である「小中学生の子をもつ家族の皆様の思いでづくりの機会を提供す



る」ことで、陸上競技への関心が、わずかでも見られればと願っている。

（山内 満）

## 東三河支部

### 22年度の活動について

平成21年度は、ここ数年間の小学生を対象としたクラブチーム・中学校・高等学校の連携の成果が出た、とても充実した1年でした。そこで、22年度はさらなる発展を目指して、支部主催及び協力事業に支部が一丸となって取り組んでいきます。

まず、普及及び強化事業に力を入れていきたいと考えています。小学生の大会では、本年度も参加料をあまり取らずに必要経費を支部から支出することで、より多くの小学

生が参加できるようにしていきます。そうすることで、今以上に陸上競技人口の拡大を図ることができればと考えています。

中学校・高等学校の強化合宿には、指導者及び費用の両面で昨年以上の補助をしていくことにより、昨年以上に全国で活躍できる多くの競技者の育成を図っていきます。また、合同練習会の回数を増やすことで、より多くの競技者がお互いに刺激しあって、競技力の向上を図ることができるようしていきます。

そして、11月から始まる老朽化した豊橋陸上競技場の改修工事は、競技者にとって少しでも使いやすい競技場に生まれ変わるように、昨年豊橋市に多くの要望をしました。市の財政事情の悪化もあり、100%満足のいく改修計画とはいきませんでした。トラック及びフィールドの張替えで出る古いタータンの有効利用も考えて、サブトラックのない競技場を少しでも使い勝手の良い競技場にしていきたいと思っています。

最後に、3月28日(日)に中日豊橋ハーフマラソンをリニューアルして行なわれた穂の国豊橋ハーフマラソンが、より多くの人々に親しまれ、伝統ある大会に成長していくことを願っています。そのために、第1回の反省点をしっかりと改善して、より多くのランナーの皆さんが気持ちよく参加できる大会となるようにしていきます。

(兵藤 重二)

## 専門委員会報告

### 施設・用器具委員会

第1回施設用器具委員会を、4月27日(火)に協会事務所において開催しました。外山理事長の挨拶から始まり、各陸上競技場の諸問題を中心に、2時間にわたり情報交換をして、内容の濃い会議になりました。主な内容を報告します。

#### 出席者

青木、平川、砂子間、桑原、江藤、延永、黒部、吉越、松井、藤城、伊藤、小山田、太田、澤辺

#### 内容

- 1 ルール修改正の確認について(桑原)
- 2 検定スケジュールについて(青木)
- 3 各陸上競技場の諸問題について

一宮：全天候型競技場に合わないが、使用可能の旧規格のもの(円盤・ハンマー用のネット、スタブプロ、ハードル・ハードル運搬車等)を使用しているので不都合がある。スタンドに上がる動線が良くない。スタート発信装置、写真判定室と記録室の連携、超音波風力計測器の遠隔装置が無いので整備したい。

知多：練習用ハードルを購入して、大会用ハードルを練習に使用させない。

刈谷：棒高跳ボックスのはめ込みが高いため調整する予定。

安城：トラックの全面改修。検定に向けて用器具備品の整備を計画している。

半田：公認更新検定の年であるが、予算化されていない。

豊橋：トラック全面改修の予定。写真判定装置の更新

を希望する。

豊川：新設3種公認競技場として設計し完成する(写真判定装置の要望をしている)。

豊田：写真判定装置の更新。

岡崎：第4種競技場として公認されたが、今後の方向性が見えない。

田原：新陸上競技場の建設案がストップしているため、写真判定装置の導入を要望している。

瑞穂：新ハードルの故障が多いので全部修理した。現在外で保管することを余儀なくされているため、今後カバーで対応する。

#### 4 その他

##### (1)写真判定のトラブル

①タイムスケジュールの過密化で精神的に余裕がないので、人為的ミスが多い。→競技委員会にタイムテーブルの検討をお願いする。

②審判編成上の問題点：準備を含めて装置を扱える審判員が配置されていない。→審判委員会に編成の検討をお願いする。

③機器の老朽化→予算化を行政にお願いする。

##### (2)電子機器のトラブル

①ケーブル、コネクタの扱いを基本に戻って再確認する。

②セッティング・後片付けは、使用する人が責任を持って行なうことを習慣づける。

③インカム担当を明確にする。

④精密機器を取り扱う審判員には、講習会を実施し、ライセンスを与えて固定化してほしい。

(3)大型映像系の講習会を開催し、審判員を増員してほしい。

(青木 実)

### 選手強化委員会

平成22年度強化委員会行事は下記の通り派遣行事、合宿、教室・練習会、指導者養成の4つの部門行事を予定しています。本年度千葉国体から種目の変更がありました。国体は原則2年で種目が見直されます。平成23年度山口国体までの競技種目は別表の通りです。

平成21年度より各都道府県で毎年実施することになった日本陸連主催のクリニックは本年度U-15(中学生)対象で開催します。

#### <派遣行事>

第65回国国民体育大会(千葉県)10月1日(金)~5日(火)

第41回ジュニアオリンピック(横浜)10月22日(金)~24日(日)

第26回スーパーレディース駅伝(福井県)

11月13日(土)・14日(日)

第29回都道府県女子駅伝(京都府)

平成23年1月13日(木)~16日(日)

第16回都道府県男子駅伝(広島県)

平成23年1月21日(金)~24日(月)

#### <代表、代表候補合宿・練習会行事>

第1回国体選手合宿(半田)8月24日(火)・25日(水)

第2回国体選手合宿(知多)9月19日(日)・20日(月)

第1回都道府県駅伝合宿(長野県富士見)

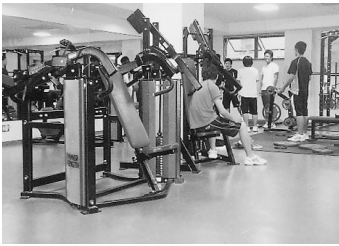
8月25日(水)~28日(土)

第2回都道府県駅伝合宿(瑞穂北)12月25日(土)~28日(火)

第3回都道府県駅伝合宿(瑞穂北)1月5日(水)・6日(木)

第1回国体候補投擲合宿(知多)12月24日(金)~26日(日)

## 学校紹介⑧ 名古屋高校 平成21年度全国総合カランキング3年男子第1位



ステーションマシーン

今回は、昨年の全国総体 4×100mR 優勝校でこれまでも数々の優勝者、入賞者を輩出している名古屋高校を訪ねました。強豪校だけに、さぞかし猛練習に励んでいるのだろうと思って練習の様子を見させていただきましたが、想像していたものとは大きな隔たりがありました。猛練習とは異なる練習内容にこそ、強さの秘訣があるようにも思われました。顧問の森谷晴彦先生への取材を含めて、常勝名古屋高校の強さの秘訣をご報告します。

訪問した日は雨降り、トレーニングはジムで行なわれていました。取材もこのジムでさせていただいたのですが、ジムの充実ぶりには、びっくりでした。エアロバイクが16台、トレッドミルが2台、システム器具であるステーションマシーンが9台も置かれていたのです。やはり、強い学校は設備が整っているものだと思わせられました。しかもジムは冷暖房が完備されており、練習後のクーリングダウンやアイシングが心地よくできるとも顧問の森谷先生はおっしゃっていました。グラウンドに目を向ければ、120mの全天候型走路2レーンやサークルが2つ設置されている砲丸投専用の投擲場、円盤投やハンマー投のサークルと防護ネット、加速走のためのスロープなど思う存分練習できる環境が用意されています。最初は、練習環境が強さの源だと強く思いました。

しかし、取材しているうちに練習環境ばかりが強さの源ではないことが分かってきました。その一つめは、練習の量についてです。どういうことかという、多くの学校が週6日の練習を行なっていると思いますが、名古屋高校は週5日制で、普段は月・火・水＝練習一木曜日＝休み一金・土＝練習となっているのです。また、毎日の練習も3:30～6:00ということで、長時間の練習というわけではありません。追い込んだ練習をしているものだとばかり思っていた私には、意外な内容でした。森谷先生は、「休むことも練習のうちですよ。特に短距離系では」とも「追い込んだ練習ができる男子は休んだ方がいいのです」ともおっしゃっていましたが、男子校の特性を踏まえた練習体制がとられているということのようです。休むと言えば、全員が氷嚢を持っているということも関わりのあるお話しのように思われました。名古屋高校では練習の後、氷嚢を使ってアイシングを徹底して行なっているそうです。マイ氷嚢と呼ぶことのできるものを使ってアイシングを行なうのですが、氷は校内の4ヶ所に設置されている製氷機のおかげでふんだんに使えるとのことでした。休むことでうまく回復を図り、徹底したケアによって故障を防ぐ、これらのことが強さを生み出す源になっているようです。



小栗先生による指導

もう一つ意外だったことは、準備運動にストレッチ体操をしないということです。多くの学校でストレッチ体操が取り入れられていると思いますが、森谷先生は「ストレッチにも功と罪があるからね」とおっしゃっていました。アメリカンフットボールのボールを使った動きやテニスのポレーボレー、テニスボールを使ったキャッチボールなど動きの中で体をほぐしていくのが名古屋高校のやり方だとのことでした。組になって体を動かす中で人間関係ができあがっていくという効果もあるし、楽しく体を動かせるという利点もあるというのが森谷先生の説明でした。取材の中では準備運動のお話に限らず、森谷先生は何度も「楽しく」と言っておられました。冬季トレーニングの中で隔週休みの土曜日に新舞子の砂浜へ出掛けたり、授業のある土曜日に平和公園に出掛けたりするのは、単調なトレーニングに楽しみを加えることが目的の一つだという話もその一例です。森谷先生の指導には、陸上競技を、部活動を、「楽しむ」ということが基本にあるように思われました。これが活気にあふれた部活動を生み出しているのだろうとも思われました。

もう一つ大きな事柄を最後に紹介しておきましょう。訪問したのは火曜日でしたが、火曜日に訪問したことで、偶然にも名古屋高校の強さの秘訣に触れることができました。前述したようにジムでのトレーニングが行なわれていたのですが、そこにフィットネストレーナーで外部コーチの小栗仁也先生が来ておられました。火曜日が、小栗先生の来校する日だったのです。選手たちは、小栗先生に体を動かしてもらいながら、筋肉の動かし方、力の働かせ方を習ったあと、各自で筋肉の動きを確認していました。筋肉の動かし方、力の働かせ方を覚えることで、効率のよい動きができるようになるのだと思いました。森谷先生は「彼に来てもらうようになってから、上の大会での優勝、入賞の数が格段に多くなった」とおっしゃっていました。小栗先生は、試合会場にも同行しておられるとのことでした。ただ、森谷先生は小栗先生に任せっぱなしにしておられるのではなく、小栗先生から習ったことについて生徒とのコミュニケーションをとっているとおっしゃっていました。「会話を大事に」という言葉が今も耳の底に残っています。会話ばかりでなく、習ったことを実践しようとしている生徒の動きを、監督の目でしっかり見ていくことがまた大事だともおっしゃっていました。小栗先生の的確な指導と森谷先生の暖かなまなざしが、記録を向上させていくのだと思わずにはいられませんでした。



砲丸投専用練習場



森谷先生(右)への取材

(取材・文責 大西 敏功)

- 第2回国体候補投擲練習(半田・知多・美浜) 1月15日(土)
- 第3回国体候補投擲合宿(中京大) 1月30日(日)
- 第4回国体候補投擲合宿(知多) 2月11日(金)
- 第5回国体候補投擲合宿(中京大) 3月6日(日)
- 第1回国体候補棒高跳合宿(中京大)

12月25日(土)～28日(火)

- 第2回国体候補棒高跳合宿(中京大) 3月19日(土)～22日(火)
- 第1回国体候補短・跳・障・競歩合宿(半田・美浜)

12月24日(金)～26日(日)

- 第2回国体候補短・跳・障・競練習(瑞穂北) 1月16日(日)
- 第3回国体候補短・跳・障・競練習(瑞穂北) 2月12日(土)
- 第4回国体候補短・跳・障・競練習(知多) 3月6日(日)
- ジュニアオリンピックリレー競技県代表練習会
- 9月12日(日)・23日(木)、10月10日(日)・16日(土)(瑞穂北)

<陸上競技教室・練習会>

JAAF アスリート発掘プロジェクト

U-15 中学生教室(瑞穂) 12月12日(日)

競歩教室: 4月3日、5月1日、6月5日、7月3日、8月7日、9月4日、10月9日、11月6日、3月12日<土曜日開催>(瑞穂運動公園内)

陸上競技教室: 各支部会場

<指導者養成>

C級コーチ取得派遣

佐橋 弘晃(長良中学)、小林 諭(富田高校)

第65・66回(2010千葉・2011山口)国体種目

種別	種目等	種別	種目等
成年男子	100m	成年女子	100m
	400m		400m
	1500m		1500m
	110mH		5000m
	400mH		100mH
	10000mW		10000mW
	棒高跳		棒高跳
	走幅跳		走幅跳
	砲丸投		砲丸投
	やり投		
	ハンマー投		
少年男子 A	100m	少年女子 A	100m
	400m		400m
	5000m		3000m
	400mH		100mH
	走幅跳		走幅跳
	三段跳		ハンマー投
	円盤投		
	ハンマー投		
	やり投		
少年男子共通	800m	少年女子共通	800m
	5000mW		走高跳
	走高跳		棒高跳
	棒高跳		円盤投
			やり投
少年男子 B	100m	少年女子 B	100m
	3000m		1500m
	110mJH		100mYH
	走幅跳		走幅跳
	砲丸投		
成年・少年共通男子	4×100mR	成年・少年共通女子	4×100mR

(北村 肇)

記録委員会

4月からトラック&フィールドがスタートし、既に30を越える競技会について日本陸連へ記録公認申請が終了しました。各支部の記録委員長始め担当者の協力により順調にスタートしました。

近年、県外の長距離競技会を中心に年間700～800人の競技者が愛知陸協から出場認知を受けて出場していますが、結果の報告のない競技者が多数います。競技会へ出場して終わりではなく「県外競技会出場報告書」を提出して終わりです。記録委員会としても報告書に基づいて競技会の主催陸協のHP等で確認をしていますが、好記録については記録証明書のコピーあるいはリザルトの添付があると大変助かります。

昨年も多くの新記録が誕生しました。そこで今一度、県記録の扱いについて平成19年に確認された事項を掲載しておきます。

愛知県記録について

1 日本陸上競技連盟、日本実業団陸上競技連合、日本学生陸上競技連合の主催による競技会の記録は即時に公認の規定があり、申請の手続きは残るものの即時に公認される。

2 愛知陸上競技協会主催の競技会により県新記録(タイ)を樹立したとき。

(例) 愛知陸上競技選手権大会、駅伝強化長距離競技会等  
上記1、2の競技会により県新記録(タイ)を樹立したとき理事会への報告を待つことなく認める。その他の競技会において樹立した記録は、理事会へ報告し承認を得る。

4月以降に確認した県記録等

高校新記録

女子棒高跳 3.31 高木志帆(中京大中京高)

第65回国民体育大会選手選考競技会、国体強化・普及競技会 瑞穂 4月10日

☆2009年愛知陸上競技記録集の訂正

P6 中学男子 200m

(正) 21.37 (誤) 12.37

P6 中学女子 400m

(正) 大会名 スプリントトライアスロン

場所 知多 年月日 09.11.8

(誤) 大会名 愛知総体 場所 瑞穂 年月日 09.7.30

P18 800m

(正) 県記録 1.48.34 栗津良介(明治大) 2009

(誤) 県記録 1.48.73 岩崎万知(中京大) 1996

P68 200m

(正) 10位 26.76 足立香澄 3

愛知陸協 愛知ジュニア 瑞穂 8.30

(誤・抹消) 7位 26.52 山田晴帆 2

千種 名古屋市総体 瑞穂 5.30

4位と重複のため。8、9、10位は7、8、9に修正。

P73 1000m (学年の訂正)

(正) 2位 伊藤礼人 学年 4

(誤) 2位 伊藤礼人 学年 5

(岡田 武彦)

女性委員会

私は5年前に女性委員会が発足した年から、女性委員会に所属し、3年前から副委員長を務めております。広報の

主旨とは少々ずれるかもしれませんが、女性審判員についての私の思いを述べさせていただきます。

早いもので、審判資格をいただいてから42年の月日が過ぎました。途中、結婚・出産・子育てとお手伝いできない期間がありましたが、これまで続けてこられたのはなぜだったのかと今振り返ってみますと、一番は、やはり『陸上が好き』だからなのだと思います。また、家族の理解があったことや、よちよち歩きの子どもをグラウンドに連れて行っても、役員の方々が快く受け入れてくださったことも大きな要因だったと思います。

親の背を見て育った娘3人は、全員審判資格を取ってくれました。しかし、娘の1人が資格を取って1年が過ぎた頃、役員をしていた際とても嫌な思いをしてしまい、今は競技会は見に来るだけとなってしまいました。ベテランの役員さんから見れば、新人役員ははがゆい事ばかりだと思いますが、「知らないことは分からない」「教える」という気持ちを持ち、厳しい中にも優しい言葉かけが必要なのではないでしょうか？

昨今、審判資格取得講習会も年2回行なわれるようになり、男女問わず審判員の増員ができるようになりました。私は新しい役員の方々が未永く競技会に参加して下さるにはどうすれば良いのか、運営する側として思案している日々です。

そこで、ベテラン役員さんをお願いしたいことがあります。『広く温かい心』で、どなたでも受け入れていただきたいのです。また、一つの部署に精通することも良いことだと思いますが、時には新しい方と一緒にいろいろな部署を経験することも大切ではないでしょうか。なぜなら、それぞれの部署に対して思いやりの心ができ、運営者が一致団結できると考えるからです。また、子連れで参加して下さる女性審判員のためには、自分の子ども(未来のアスリート)と違って優しく声かけをしていただければ幸いです。

私は競技会において、女性審判員が大きな力になっていると思っています。女性が力を発揮しやすい部署もありますし、競技会の雰囲気を柔らかなものにする力も持っています。女性審判員の皆様、家庭、子育て、身体面の不調などを抱えることもあるでしょうが、そんな悩みも私たちと一緒に語り合い、また、真剣な瞳で撥刺と競技する選手からパワーをもらい、一緒に乗り越えていきましょう。そして競技会を支える力となっていきましょう。どうか心の内をちょっぴりお話しください。ちょっとだけ先輩の私からのお願いです。

(石田美知枝)

### 年誌資料・広報委員会

皆さん方のご支援ご協力により昨年度までに17号を発刊することができた。委員会としては、今年度も下記のとおり年4回(18～21号)の広報紙の発刊を予定している。次の3点に配慮し、情報提供しようと考えている。

- ◎できるだけ多くの情報を掲載し、紙面の充実に努める
- ◎読みやすくするために、レイアウトを工夫する
- ◎身近な情報誌としての役割を果たすために、多くの方からの意見を聞く

また、さらに今後は陸上愛好者に広く情報提供するために、愛知陸協ホームページへの掲載を検討している。

「愛知陸協広報」18～21号編集計画(案)

号数	発行月	編集内容
「愛知陸協広報」18号	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長及び理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告及び今年度の活動方針</li> <li>・4支部の活動状況及び今年度の活動方針</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告(国体選考、東海学生、県高校総体、県・東海マスターズ、土曜記録会等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・愛知陸協21年度収支決算報告</li> <li>・慶弔報告</li> <li>・連載「ホープさん」⑫</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑪</li> <li>「クラブ紹介」⑫「学校紹介」⑧</li> </ul>
「愛知陸協広報」19号	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4支部の活動状況</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告(県高校定通、東海高校総体、東海地区国立、県・東海混成、小学生リレー、愛知レディース、愛知選手権、県中学通信・総体、国立七大学、県ジュニア等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記(全国高校総体、全日中他)</li> <li>・慶弔報告(協会会長表彰他)</li> <li>・連載「ホープさん」⑬</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑫</li> <li>「クラブ紹介」⑬「学校紹介」⑨</li> <li>「陸上競技場めぐり」②</li> </ul>
「愛知陸協広報」20号	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4支部の活動状況</li> <li>・関係団体の活動状況</li> <li>・競技会報告(県高校新人、国体、愛知ジャンプ、日本ジュニア・ユース、県小学生、県高校・中学駅伝、市町村駅伝東海学生駅伝、名古屋ハーフ等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記(国体等)</li> <li>・慶弔報告(秩父宮章他)</li> <li>・連載「ホープさん」⑭</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑬</li> <li>「クラブ紹介」⑭「学校紹介」⑩</li> <li>「陸上競技場めぐり」③</li> </ul>
「愛知陸協広報」21号	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のことば</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・4支部の活動報告</li> <li>・関係団体の活動報告</li> <li>・競技会報告(駅伝カーニバル、新春ロード・競歩、名岐駅伝、読売犬山ハーフ、名古屋国際女子マラソン等)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・競技会参戦及び観戦記(駅伝関係&lt;全国高校、都道府県・マラソン他)</li> <li>・慶弔報告(県体協他)</li> <li>・連載「ホープさん」⑮</li> <li>「名岐駅伝いまむかし」⑭</li> <li>「クラブ紹介」⑭「学校紹介」⑪</li> </ul>

(外山 修)

## 関係団体報告

### 小学生友の会

#### 小学生友の会の活動

1 “日清食品カップ” 第12回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会の成績 (万博記念公園特設コース)

平成22年3月21日(日) 参加50チーム

チームは、男子・女子各4人の8人編成 6人がリレー大会 2人が友好レース(個人1人1.5km)に出場した。

コースは、アップダウンの激しい1人1.5kmの周回コースを6周して競った。

蒲郡クラブ 第18位 9km 33分05秒

監督 手嶋修次 コーチ 安藤康俊

第1区	中瀬 千晶	区間 39位
第2区	飯島 康介	区間 2位
第3区	田中 愛弓	区間 34位
第4区	山本 淳太	区間 4位
第5区	後藤 夏実	区間 7位
第6区	壁谷颯一郎	区間 16位
友好レース	石川 温子	女子 18位
	辻口 翼	男子 38位

#### 愛知県代表チームの過去の成績

17年	田原陸上教室	第9位
18年	田原陸上クラブ	第8位
19年	田原陸上クラブ	第8位
20年	岡崎JAC	第10位
21年	岡崎JAC	第2位
22年	蒲郡クラブ	第18位

#### 2 平成22年度の活動予定

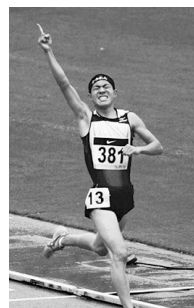
- (1) 6月27日(日) 愛知県小学生リレー競走大会 瑞穂
- (2) 8月7日(土)～9日(月) 全国小学生陸上競技指導者中央研修会 広島大会  
8月4日(水)～6日(金) 同上 埼玉大会

## ホープさん⑫

### 西山 令 君 (葵中3年)

西山令君の強さの秘密はどこにあるのかと考えると、大きく2つのことが考えられる。

一つ目は、陸上の練習に対する姿勢である。自ら掲げた目標の達成に向けて、人一倍熱心に練習に取り組むのはもちろんのこと、アップが足りないと感じればさらに距離を増やしたり、ストレッチや柔軟を念入りに行なったりし、自分のその時の体調を考えてトレーニングすることができる。また、辛い練習の時には、自ら先頭に立って引っ張ったり、チームメイトに声をかけて全体のモチベーションを高めるように心がけたりしている。特に駅伝の練習や大会の時には、その姿勢が顕著に現れ、岡崎市民駅伝大会や西三河長距離継走大会、愛知県長距離継走大会など、チームの流れを作る走りを見せてタスキを渡し、入賞の原動力となった。



全国ジュニア優勝

二つ目は、普段のけじめある生活である。放課に友達と笑顔で楽しそうに過ごす姿は、どこにでもありがちな普通の中学生であるが、授業になるとすぐに気持ちを切り替え、真剣な表情で真面目に取り組んでいる。気持ちのオンオフがしっかりできており、何事にもメリハリをつけて、けじめのある生活を送ることができている。また、陸上だけでなく、学校生活のいろいろな場面で積極的に活動することができる。例えば厚生委員長として、全校生徒が心豊かに学校生活を送れるよう呼びかけたり、級長をサポートして学級がよりよい方向へと進むように導いたり、ちょっとした問題があれば正義感をもって対応したりと、常に他の模範となる行動ができている。さらに、困っている子がいれば、進んで声をかけ手を差し伸べたり、清掃時の鍵当番やあいさつなど「僕がやります」と率先して気持ちよく動いたりするなど、周りへの気配りも身につけている。



県中学駅伝入賞のメンバー (右端が西山令君)

「夢があるから走れる」という彼の思いは強く、「毎日の練習は苦しいけれど、嫌だと思ったことは一度もない」と言う。全中優勝、高校の全国駅伝、大学の箱根駅伝、そしていつしかオリンピックに出場したいという彼の夢は、これからも続いていく…。

(顧問 富田 好己、天白 真順、森 正吉)

僕は小学校では野球と陸上の両方に取り組んでいましたが、5年生のときに出場した岡崎市民陸上での優勝をきっかけに、「陸上で日本一になりたい」という思いが膨らみ、中学校に入ってから本格的に陸上を始めました。

1年生では800mに出場し、歴代最高タイムで全国標準記録を突破したときには、嬉しさで胸がいっぱいになりました。全国大会では残念ながら予選敗退し、悔しい思いもりましたが、これを機にさらに練習に励むことができ、確実に力をつけることができた実感しています。

2年生では、800m、1500mの2種目で全国大会に出場しました。1500mでは、決勝の結果は13位でしたが、出場した2年生の中では最高のタイムで走ることができ、さらに4.03.30の愛知県新記録を樹立し、目標としていた日本一が夢ではなくなりました。そして、10月には全国ジュニアオリンピック大会に出場し、2年1500mで優勝して念願の日本一になることができ、最高に嬉しかったです。

陸上は、僕にとって無くてはならないものであり、すべての原点だと思っています。なぜなら、陸上は僕を輝かせてくれるからです。今まで陸上で良い結果を残すことができましたが、それは、常に僕をサポートしてくれた父を始めとして、家族や友達、先生方、いろいろな方々の支えがあって、今の僕があると思っています。だから僕は、今年度も全国大会で優勝して日本一になり、お世話になった多くの方々に恩返しができたらと思っています。そのために、これからの大会に向けて必要な力を練習で付けていき、必ず日本一になります！たくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、日々練習に励みます。

(西山 令)



- (3) 8月27・28日(金・土) “日清食品カップ” 全国小学生陸上競技交流大会 国立競技場  
 (4) 8月29日(日) 東海小学生リレー競走大会 松本  
 (5) 11月3日(祝) 愛知県小学生陸上競技選手権大会 瑞穂  
 (6) 12月18日(土) 愛知県小学生長距離走記録会 刈谷  
 (7) 2月 小学生クラブチーム指導者実技研修会  
 (8) 3月19・20日(土・日) “日清食品カップ” 第13回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 万博記念公園

(大矢 新吾・村上 叡治)

## 中小体連

### 平成22年度 中小体連活動について

昨年度は、全日中、ジュニアオリンピックと、愛知の中学生は大活躍することができました。これも日頃からの愛知陸協の強力なご支援と、県の強化事業に中学生も多数参加させていただいている成果であると感じております。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

平成25年に、愛知で全日本中学校陸上競技選手権大会が開催されます。運営面、競技面において、「愛知ここにあり！」を全国にアピールするべく、中小体連一丸となって取り組んでいく所存です。愛知陸協の皆様のご支援が得られるよう、中小体連は頑張ります。何とぞよろしく申し上げます。

本年度の主要な大会(主な県大会以上の大会予定として)は下記のとおりです。

- 愛知県混成競技大会 7月3・4日(土・日) 瑞穂  
 愛知県中学選抜混成大会 7月10日(土) 知多  
 全日本中学校通信陸上競技愛知県大会 7月19日(月) 瑞穂  
 愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会 7月29・30日(木・金) 瑞穂  
 ※本年度より2日間開催  
 東海中学校総合体育大会陸上競技大会 8月10日(火) 三重  
 全日本中学校陸上競技選手権大会大分大会 8月20日(金)～22日(日) 鳥取  
 愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会 9月4日(土) 瑞穂  
 ジュニアオリンピック陸上競技大会 10月22日(金)～24日(日) 横浜  
 愛知県中学校駅伝大会 11月20日(土) 新城  
 全日本中学校駅伝大会 12月19日(日) 山口  
 (久米 裕朗)

## 高体連

- 昨年大混乱を起した新型インフルエンザ騒動も何とか治まり、今年の県高校総体は無事終了することができました。3日目が雨にたたられアクシデントが心配されましたが、そんな中でも選手は皆頑張って熱戦を繰り広げていました。

県高校総体の結果につきましては、別添の記録表、及び、愛知県高体連のホームページをごらんください。

- 今年度の東海高校総体は、4年に一回の愛知県開催で、6月18日(金)～20日(日)の3日間、瑞穂陸上競技場で行なわれました。全国高校総体に向けて多数の選手が活躍しました。多くの方に競技場にご来場いただき、選手の頑張っている姿にご声援を送っていただき、ありがたく思います。

また、競技役員・補助員等でご無理をお願いしましたが、地元での開催を無事に終わらせることができ、ご協

力に感謝いたします。

- 全国高校総体は、7月29日(木)～8月2日(月)までの5日間、「美ら島(ちゅらしま)沖縄総体2010」のタイトルで沖縄県沖縄市において開催されます。今年も猛暑が予想されますが、愛知県の選手はこの猛暑に負けず、遠く沖縄の地で熱戦を繰り広げてくれることと期待しております。

なお、東海高校総体や全国高校総体の結果については、それぞれ、愛知県高体連・全国高体連のホームページに掲載されますのでご活用ください。

(大島 修)

## 高体連定通部

### 「今年度の活動」

6月13日(日) 知多運動公園陸上競技場において県総体兼全国大会選手選考会が行なわれた。各種目3位までに入賞し、標準記録を超えた選手が代表権を得た。リレーは県選抜チームとなる。国立をめざす選手の第一ハードルである。

7月13日(火) 名古屋市公会堂にて、全国大会の愛知県選手団結成式が行なわれる。

8月7日(土) ウェーブスタジアム刈谷にて強化練習会が行われる。リレーメンバーやキャプテンも決まり、学校間の枠を超え、ライバルだった選手が愛知県チームとしてひとつにまとまる。もちろん、監督、顧問もAICHIとなる。

全国大会は今年で45回を数え、東京：国立競技場で8月13日(金)～15日(日)の3日間の日程で行なわれる。また、45回を記念して8月29日(日)には、県定通陸上の歴代関係者が集い、記念式典を開催する。

秋季大会は、10月17日(日) 知多運動公園陸上競技場で行なわれる。

現在、今年2月に発刊された記念誌を関係者に配布している。

(松橋 政人)



## 実業団

### 第54回中部実業団対抗陸上競技大会が多治見で開催

54回を数える中部実業団対抗陸上競技大会が、5月15日(土)・16日(日)に今年が多治見市星ヶ台競技場で開催された。例年岐阜メモリアル競技場で開催されていたが改修工事により多治見市での開催となった。2日間とも快晴に恵まれ、成功裏に終了した。

今大会から、事情によりスズキチームが残念ながら不出場であったが、三重から新たにM&Kチームが初参加で大いに大会を盛り上げてくれた。

<団体成績は下記の通り>

<総合>

- 優勝 トヨタ自動車(愛知) 準優勝 小島プレス(愛知)  
 3位 M&K(三重) 4位 NTN(三重)

## 名岐駅伝いまむかし⑪

## 第14回大会(昭和23年) — 「一部」19・「二部」24参加—

復活大会は名走友の7連覇と中津商が2回目の優勝

中部日本新聞(以下、「中日」)は、『「駅伝競走」を復活—80キロに若人の争覇絵巻』の見出しで、「名古屋—岐阜往復駅伝を本社と東海学生陸上競技連盟との共催で2月8日(日)に挙行する」との大会要綱を発表(1/20朝刊)。さらに、走路の略図を記し当日は先導車を出し、不明箇所は石灰で、また十字路は人員を配置して万全を期するとした(2/5)。

レースは、午前9時中日本社前を両部の43チームの第一走者が一斉にスタート(写真1)。スタート直後の「滝兵」前から自転車伴走が許可されていることもあって伴走車(者)のワッシュワッシュの檄と沿道のファンや学童たちの声援のなか、終始熱戦が伊吹路で展開された。

第一部(一般、学生、専門)では、戦前優勢が伝えられた全岐阜が、6区走者の不調で名走友との距離が大きく広がり、区間1位の好走を見せたアンカー河村の追い上げも実らず、平均年齢32歳ながらメンバー一人一人がムラのない走りを見せた名走友ク(富田、浅井、野村、近藤、今井、横井、鈴木知、柴垣)が、4.33.05で7連覇を果たす。

第二部(中等学校)では、優勝の呼び声が高かった中津商(上田、木股、宮川、吉田、樋田、森下、糸魚川、小木曾)が、8区間中4人が区間1位の好走を見せ、4.41.09で2回目の優勝を遂げる。また、長距離走者ばかりで競技部をつくり東三河から遠路参戦した田口農林の2位入賞も讃えられよう。

戦前の大会で度々指摘された伴走者の応援が、今回も数が多過ぎて好リードするものが少なく、かえって自チーム選手の邪魔になっている場合が多かったという反面、第一部で18位の名古屋専門は、応援団をギッシリ詰めたトラック上から羽織袴に紅白二本の扇をもった団長のあざやかなリードぶりに、勝敗を越えて沿道から声援が沸いた、という。

共催の東海学連会長の須賀太郎名大教授(後、豊田高専の初代校長)は、「…駅伝は耐久力を必要とする競技であるから余ほど技術を身につけていないと最後にボロが出る。一夜だけの試験勉強ではダメで、平素から走ることのほか各種の鍛錬に無精がらずに精進することが大切である」と(談)と講評している。

2位以下の成績を参考までに記す(4位以下は愛知県勢のみ。以下同じ)。

- 第一部：②全岐阜 4.37.24 ③豊橋陸上ク 4.43.57 ⑤愛知青師 ⑥全トヨタ ⑧全愛知二師 ⑨川北走友 ⑪名鉄工機  
⑫三菱電機 ⑬愛知一師 ⑮大同製鋼 ⑰小牧青 ⑱名古屋専門 ⑲名工事局
- 第二部：②田口農林 4.50.19 ③恵那 4.51.31 ④愛知一中 ⑤滝実業 ⑥一宮商 ⑧一宮 ⑨小牧 ⑪昭和 ⑫稲沢農 ⑬大同工  
⑭南山 ⑮明倫 ⑯愛知商 ⑰熱田 ⑱中京商 ⑲起工 ⑳中川工 ㉑名高理工 ㉒愛知 ㉓半田 ㉔貿易商



写真1 中日本社前スタートの精鋭たち

## 第15回大会(昭和24年) — 「一部」22・「二部」34参加—

名走友8連覇 大垣工一般を凌ぐ好記録で初優勝を飾る

戦後の教育改革により、6・3・3・4制の単線型学校体系が成立し、1948(昭和23)年に「新制高等学校」が発足した。これにより本大会も第2部を「中等学校」から「高等学校」に改称。

今大会から共催団体として、東海学連の代わりに愛知・岐阜・三重の各県陸協と東海高体連が加わった。また、中日新聞社では1月17日に走路の調査と正式に距離測定(83.5キロ)。

レースは、愛知県庁前をスタート・ゴールとするコースで、一部と二部のスタート時間を10分ずらして行なわれた。沿道の温かい声援に加えて、女生徒の自転車伴走(写真2)やトラック上からの応援も熱烈であった。

写真2 「女生徒の伴走」  
愛知一師予科

一部では、1/9の第1回渥美半島一周駅伝で名走友に圧勝した豊橋青が名走友の八連覇を阻止するか、また、最長区間の第2区(13.1キロ)を走る全日本マラソンランキング1位の山田(岐阜走友)や前回大会で好走した鶴田(愛知青師)、さらに浅野(名走友)、小林(愛知二師)らの強豪の区間1位を目指しての闘いも注目された。初制覇が期待された豊橋青は、4区走者の

ブレーキでそれまでのリードを失い、7区名走友の野村が区間1位の好走を見せ、連続15回出場の42歳の主将でアンカーの柴垣に華を添えて、名走友(佐藤、浅井、横地文、近藤、横地勇、今井、野村、柴垣)が4.40.49で8連覇を果たした。なお、岐阜走友は2位でゴールしたものの未登録選手が出場したために失格となった。

二部では、大垣工、本巢を中心とする岐阜県勢の優勢が伝えられていたが、前評判どおり、3区間で区間1位の好走を見せた大垣工(石原、多賀、安田、馬場、岩木、川地、堀部、吉安)が、名走友の記録を1秒上回る4.40.48の好記録で初の栄冠を獲得した。同一距離で覇を競った名岐駅伝の歴史上、高校(中学)が一般・大学・高専の記録を上回った唯一の大会となった。

2位以下の成績は次のようである(△は印刷不鮮明で判読不能)。

- 一部：②豊橋青 4.44.06 ③愛知福地青 4.47.24 ⑤三菱電機 ⑥愛知八楽ラビット ⑧刈谷車体 ⑩三菱△△ ⑪愛知青師  
⑫愛知二師 ⑬愛知製鋼 ⑭トヨタ自 ⑮大同製鋼星崎 ⑰東邦化学 ⑱三菱名機 ⑳名古屋専門 ㉑豊田織機
- 二部：②本巢 4.45.11 ③海津 4.46.40 ④田口農 ⑤新城 ⑧昭和 ⑩大同工 ⑪旭丘 ⑫刈谷 ⑬一宮 ⑭稲沢農 ⑮小牧  
⑯一宮商 ⑰滝実 ⑱松蔭 ⑲明和 ⑳半田農 ㉑愛知 ㉒南山 ㉓瑞陵 ㉔愛知一師予 ㉕名市工 ㉖中京商 ㉗名古屋  
⑳起工 ㉙向陽 (西垣 完彦)

- 5位 日本陸送 (三重)      6位 デンソー (三重)
- <男子総合>
- 優勝 トヨタ自動車 (愛知)      準優勝 小島プレス (愛知)
- 3位 NTN (三重)      4位 サンメッセ (岐阜)
- 5位 日本陸送 (三重)      6位 八千代工業 (三重)

- <女子総合>
- 優勝 トヨタ自動車 (愛知)      準優勝 M&K (三重)
- 3位 小島プレス (愛知)      4位 デンソー (三重)
- 5位 三菱自動車岡崎 (愛知)      6位 愛知電機 (愛知)

- <大会新記録>
- 男子 800m      1.50.35 小林史和 (NTN)
  - 男子 Jr5000m      14.17.65 松本賢太 (トヨタ自動車)
  - 女子 100m      11.87 清水めぐみ (濃飛倉庫運輸)
  - 女子 100m      11.88 熊谷史子 (M&K)
  - 女子 400m      54.74 堀江真由 (M&K)
  - 女子 5000mW      23.50.41 占部磨美 (三菱自動車岡崎)
  - 女子 5000mW      24.27.12 上野侑香 (日本陸送)
  - 女子 4×100mR      46.30 M&K  
(熊谷・河原崎・堀江・須田)

- <大会タイ記録>
- 男子三段跳      16.36 梶川洋平 (M&K)  
(樋高 勇二)

### マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

3月28日(日)岡崎市シビックセンターにおいて、平成21年度愛知マスターズ陸上競技連盟の総会を開催しました。議題は第30回記念国際・全日本マスターズ陸上競技選手権大会の結果報告に始まり、21年度事業報告、決算の認定、22年度の事業計画、予算案といった定例の議案が審議されました。審議に付された議案については会員各位からの活発な意見や質問の末、すべて原案どおり承認されました。

平成22年度は全国大会を無事終了したことで、新たなスタートとなる重要な年であるとの認識のもと、役員、会員が一丸となりマスターズ陸上の一層の活性化、発展を目指してまいります。

4月25日(日)、第21回愛知マスターズ陸上競技選手権大会兼第23回全国スポレク祭愛知県代表選手選考会をウェーブスタジアム刈谷で開催しました。一日中雨であった昨年とは打って変わった快晴に恵まれ、愛知県NO.1、全国スポレクの愛知県代表を目指し、これまで最高の参加者231人が白熱したレースを展開しました。記録面では、男子砲丸投 M75では名古屋市の近藤陽洲が日本記録を樹立しました。

今年の全国スポレク祭マスターズ陸上は、10月16日から19日まで富山市で開催されます。この大会には5月9日の愛知マスターズ陸上競技連盟の理事会で、外山修監督以下、選考会の成績を基に21名の選手を選考し派遣することに決定しました。

5月9日(日)には第36回愛知マスターズ陸上競技連盟記録会をウェーブスタジアム刈谷で開催しました。シー

ズン始めの大会を目指す選手の絶好の練習の場となり、延べ569名という多数の選手が参加していただきました。小学生から後期高齢者まで一緒になって陸上競技を楽しむ三世代交流の場として、ますます参加者が増えることを期待しつつ、運営面での課題も出てきました。いずれにしても多くの方々が気楽に陸上競技をより楽しんでいただけるようにしていきたいと考えています。

(佐野 昭二)

### 愛知陸協 OB 会

前会長高橋公一氏の肝入りでOB会が設立されて12年目を迎えました。

永年にわたり協会の運営に貢献された60歳以上の方を対象に構成しています。

現在会員は134名で、総会、懇親会、日帰り旅行、そして一泊の新年懇親会などの行事を通じ、会員相互の親睦を深め、楽しく交流を図っています。

各種大会の審判名簿を見ていますと、審判の約4割がOB会の会員であり、陸協とOB会が深いつながりをもっていることに喜びを感じます。

入会したい方、また、会員の皆さんがぜひ入会をすすめてほしい方がありましたら、下記の世話人へご連絡くださいますようお願いいたします。

國分一郎、平林栄治、高木章治、小椋征弘、小島末広、山内満、古久根啓夫、柴田要吉、加藤春雄、竹内信雄、伊藤紀久夫、村瀬雄一郎

(村瀬雄一郎)

## 競技会報告

第65回国民体育大会選手選考競技会国体強化・普及競技会

2010年4月10日・11日

名古屋市瑞穂公園陸上競技場 名古屋市瑞穂公園北陸上競技場

※1位ののみ

	種目	記録	氏名	学年	校名
男子トトラック	100m	10.63	石黒 遼人		中京大クラブ
	200m	21.90	河室 裕貴	1	名古屋高
	400m	48.61	壁谷 智之	3	岡崎高
	800m	1.55.28	犬飼 正雄	3	起工高
	1500m	3.57.41	小島 秀斗	3	豊川工高
	5000m	14.39.64	加藤 聡		トヨタ自動車
	110mJH少年B	14.82	角田 涼一	1	中京大中京高
	110mH	14.66	藤城 豊		エリアワン
	400mH	51.53	中村 明彦	2	中京大
	3000mSC	9.24.58	丸尾 健太	4	愛知教育大
男子フィールド	5000mW	21.44.68	木村 洋介	3	弥富高
	4×100mR	41.92	川野 直哉	1	名古屋大谷高
			田村 朋也	3	
			鳥本 佳秀	3	
4×400mR	3.20.80	宮崎 海悠	1	一宮高	
		後藤 良介	2		
		山田 涼馬	2		
男子フィールド	走高跳A	2.02	早川 周吾		安城学園 AC
	走高跳B	1.91	市川 靖真	3	岡崎城西高
	棒高跳A	4.20	一ノ瀬 航	2	愛知教育大
	棒高跳B	4.60	橋本 佑輝	2	三好高
	走幅跳	6.90	高田 裕大	2	中京大
男子フィールド	三段跳A	14.63	金田 純弥	4	名古屋工業大
	三段跳B	13.43	近田 竜雅	3	中京大中京高

男子 フィールド	成年砲丸投	12.90	小山 祐一郎		檜柑山
	少年B砲丸投	13.28	小出 拓実	1	名古屋高
	少年A円盤投	38.08	石原 勇人	3	長久手高
	成年ハンマー投	50.73	北浦 弘之		中京大クラブ
	少年ハンマー投	49.16	墨 訓熙	2	起工高
	やり投	60.76	小林 隼	3	日本福祉大

男子 フィールド	少年B	走幅跳	6.08	高柳 俊	1	豊川高
		砲丸投	13.31	小出 拓実	1	名古屋高
	少年	走高跳	2.03	糟谷 隆明	2	中京大中京高
	共通	棒高跳	4.70	近田 竜雅	3	中京大中京高
JO B	走幅跳	5.11	田戸 健太	2	東海中	

	種目	記録	氏名	学年	校名	
女子 トラック	100m	12.50	木南 洋子	M2	愛知教育大	
	200m	25.44	山田 恵里	2	中京大中京高	
	400m	57.68	木引悠起子	3	名女大高	
	800m	2.15.40	竹内麻里子	2	中京大中京高	
	1500m	4.41.88	服部 優亜	1	名城大附属高	
	3000m	9.48.14	清田 真央	2	中京大中京高	
	5000m	17.34.48	河村奈津紀		小島プレス	
	100mYH少年B	16.36	後藤 真季	1	半田高	
	100mH	14.02	山崎由加里		栄新葉	
	400mH	1.01.43	石田 朋美	3	中京大	
	3000mW	14.26.30	山本 祥子	3	光ヶ丘女高	
	4×100mR		47.84	西川 彩乃	2	中京大中京高
				山田 恵里	2	
		松井香保里		1		
4×400mR		3.58.77	園原 基予	3	至学館高	
			宮島はづき	3		
			糟谷 知世	3		
女子 フィールド	走高跳 A	1.69	松本明日美		中京大クラブ	
	走高跳 B	1.56	中村 未央	3	半田商高	
	棒高跳	3.31 (NPH)	高木 志帆	2	中京大中京高	
	走幅跳	5.44	小川 詩織		OWLS	
	砲丸投	12.85	近田 茜	3	名城大附高	
	円盤投	36.30	近藤 瞳	2	津島北高	
	ハンマー投	39.90	赤嶺 愛		豊田自動織機	
	やり投	42.52	高塚 裕子	2	名城大附高	

※県高校新記録 棒高跳 3.31 高木志帆 (2) 中京大中京高

	種目	記録	氏名	学年	校名	
女子 トラック	成年	100m	11.84	今井沙緒里	2	至学館大
		400m	56.37	鷹羽 桃子	M2	至学館大
	少年A	100mH	14.18	山崎由加里		栄新葉
		100m	12.49	山田 恵里	2	中京大中京高
		400m	56.38	木引悠起子	3	名女大高
		3000m	9.38.24	清田 真央	2	中京大中京高
		100mH	14.46	飯田 美咲	2	名城大附属高
	少年B	100m	12.59	松井香保里	1	中京大中京高
		1500m	4.41.08	堀 舞花	3	祖父江中
	少年共通	800m	2.13.73	竹内麻里子	2	中京大中京高
		100m	12.87	田中優梨亜	J3	豊橋陸上クラブ
	JO A	3000m	10.27.88	加治屋ななこ	3	逢妻中
		100mYH	14.90	萩原加奈子	J3	豊橋陸上クラブ
JO B	100m	12.74	伊藤 南侑	2	とよた AC	
	1500m	4.41.48	山田日菜野	2	北中	
女子 フィールド	成年	棒高跳	3.80	前田 朋子	2	中京大クラブ
		走幅跳	5.55	賀川 綾子	3	至学館大
		砲丸投	10.18	赤嶺 愛		豊田自動織機
	少年A	走幅跳	5.60	布施 和花	2	至学館高
		ハンマー投	36.02	野田 瞳	3	起工高
	少年B	走幅跳	5.36	浅井 真子	1	光ヶ丘女高
		走高跳	1.66	佐藤 菜南	3	向陽高
	少年共通	棒高跳	3.10	高木 志帆	2	中京大中京高
		円盤投	36.19	近藤 瞳	2	津島北高
	やり投	46.60	高塚 裕子	2	名城大附高	
JO A	走高跳	1.50	飯田 典子	J3	豊橋陸上クラブ	
JO B	走幅跳	4.98	伊藤 南侑	2	とよた AC	

### 第76回東海学生陸上競技対校選手権大会

平成22年5月14日(金)～5月16日(日)

名古屋市瑞穂公園陸上競技場 名古屋市瑞穂公園北陸上競技場

※1位のみ

### 第65回国民体育大会選手選考春季選抜競技大会決勝

2010年4月18日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	校名	
男子 トラック	成年	100m	10.55	田口 博崇	3	中京大
		400m	46.95	中野 弘幸	4	愛知教育大
		1500m	4.01.15	鈴木 俊介	4	愛知学院大
		110mH	14.24	吉岡 康典		愛知陸協
		400mH	52.35	山内 博貴	2	中京大
		100m	10.86	渡辺 将志	2	名古屋高
	少年A	400m	48.03	林 雅人	3	一宮高
		5000m	出場者なし			
		400mH	53.67	石原 颯	3	津島高
	少年B	100m	10.86	河室 裕貴	1	名古屋高
		3000m	9.37.02	加藤 高徳	1	中部大第一高
	少年共通	110mJH	14.63	角田 涼一	1	中京大中京高
		800m	1.55.29	犬飼 正雄	3	起工高
JO A	100m	11.48	山岸 綾佑	3	なごや陸上ク	
	3000m	9.09.58	外山 貴大	3	平坂中	
	110mJH	15.22	矢野 智大	3	守山西中	
JO B	100m	12.01	秋江 洋志	2	AC一宮	
	1500m	4.36.56	小島 勇人	2	AC一宮	
男子 フィールド	成年	110mYH	15.58	岩崎 聖	2	東海中
		棒高跳	4.70	内田 哲郎	4	中京大
		走幅跳	6.93	佐々木健太	3	名古屋学院大
		砲丸投	12.67	加藤 源樹		トヨタ自動車
		やり投	61.02	土田 基由	3	至学館大
	少年A	走幅跳	6.95	松原 瑞貴	3	名城大附高
		三段跳	13.49	関口 快	3	旭丘高
		円盤投	43.05	越 寛将	2	至学館高
		ハンマー投	52.49	墨 訓熙	3	起工高
		やり投	55.40	安藤 祐斗	3	起工高

	種目	記録	氏名	学年	校名		
男子 トラック	100m	10.46	杉本 隆	3	中京大		
	200m	21.18	服部 辰也	M1	中京大		
	400m	46.87	中野 弘幸	4	愛教大		
	800m	1.53.79	久我アレキサンデル	3	岐経大		
	1500m	4.00.46	三方 勇輔	3	中京大		
	5000m	14.48.03	山下 洸	4	中京大		
	10000m	30.55.20	山下 洸	4	中京大		
	110mH	13.84 TUR GR	和戸 達哉	2	中京大		
	400mH	50.66	中村 明彦	2	中京大		
	3000mSC	9.10.26	三方 勇輔	3	中京大		
	10000mW	45.14.45	尾上 雄基	2	中部学大		
	4×100mR		40.31	中川 恵輔	2	中京大	
				米原 翔太	3		
		安井 一樹		2			
4×400mR		3.09.91	田口 博崇	3			
			川崎 卓也	3			
			古川 拓夢	2			
			安部 孝駿	1			
男子 フィールド	成年	上田 祐貴	4	中京大			
		走高跳	2.18		衛藤 昂	5	鈴鹿高専
		棒高跳	4.80		岡田 公志	4	中京大
		走幅跳	7.32		松下 元	3	浜松大
		三段跳	15.56		西川 祐也	4	岐経大
	少年A	砲丸投	14.60	大庭 利氏	3	浜松大	
		円盤投	48.87 GR	久保 博規	4	中京大	
		ハンマー投	59.61	野中 直道	4	中京大	
		やり投	64.10	荒木 崇裕	3	中京大	
		混成	十種競技	7056	宮澤 陸	4	中京大

TUR: 東海学生新記録 GR: 大会新記録

最優秀選手 和戸達哉 中京大 110mH

	種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	100m	11.83 GR	今井沙緒里	2	至学館大
	200m	24.05 GR	市川華菜	2	中京大
	400m	55.06 GR	市川華菜	2	中京大
	800m	2.14.26	谷水 見圭	3	名城大
	1500m	4.57.14	谷水 見圭	3	名城大
	5000m	16.08.41 GR	鈴木亜由子	1	名大
	10000m	33.28.26	小田切亜希	2	名城大
	100mH	14.20	桐山 智衣	1	中京大
	400mH	1.00.49	愛敬 世菜	2	愛教大
	3000mSC	10.43.45	広井 佑紀	3	名城大
	10000mW	47.12.50 TUR	大和 千秋	2	中部学大
	4×100mR	46.38 GR	長崎 由佳 小林 愛実 小澤 菜由 市川 華菜	4 1 2 2	中京大
	4×400mR	3.45.83 GR	作野 捺希 土屋なつみ 下道 美奈 鷹羽 桃子	1 4 2 M2	至学館大
女子フィールド	走高跳	1.75	河澄 真子	2	中京大
	棒高跳	3.60	井上 裕生	3	愛教大
	走幅跳	5.86	渡邊 千洋	4	愛教大
	三段跳	12.10	渡邊 千洋	4	愛教大
	砲丸投	13.65	徳岡 沙織	3	中京大
	円盤投	47.41	徳岡 沙織	3	中京大
	ハンマー投	51.51	加藤 晴香	2	中京大
混成	やり投	46.76	大西 珠希	3	至学館大
	七種競技	4955	桐山 智衣	1	中京大

TUR: 東海学生新記録 GR: 大会新記録  
最優秀選手 市川華菜 中京大 200m・400m・4×100mR・4×400mR

**第64回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会  
兼秩父宮賜杯第63回全国高等学校陸上競技対校  
選手権大会東海地区予選会愛知県大会  
2010年5月21日(金)～23日(日) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場**

※1位のみ ※太字の斜体は、大会新

	種目	記録	氏名	校名
男子トラック	100m	10.95	大野 将士	中京大中京
	200m	21.64	河室 裕貴	名古屋
	400m	47.80	壁谷 智之	岡崎
	800m	1.56.02	犬飼 正雄	起工
	1500m	<b>3.52.68</b>	小島 秀斗	豊川工
	5000m	14.30.75	小島 秀斗	豊川工
	110mH	14.82	天野 涼太	岡崎城西
	400mH	53.26	石原 颯	津島
	3000mSC	9.16.51	山内 栄二	豊川
	5000mW	<b>21.15.90</b>	木村 洋介	弥富
	4×100mR	41.17	掛村 将之 河室 裕貴 渡辺 将志 寺西 智紀	名古屋
	4×400mR	3.19.01	永井健太郎 宮崎 海悠 鳥本 佳秀 田村 朋也	名古屋大谷
	男子フィールド	走高跳	2.03	糟谷 隆明
棒高跳		4.90	近田 竜雅	中京大中京
走幅跳		7.04	松原 瑞貴	名城大附
三段跳		14.23	近田 竜雅	中京大中京
砲丸投		14.64	清水 大樹	春日井商
円盤投		40.27	墨 訓熙	起工
ハンマー投		53.85	墨 訓熙	起工
やり投		58.69	加藤 翼	日進西
八種競技	5124	加藤 翼	日進西	

総合

- ①中京大中京 58点 ②名古屋 40点 ③豊川工 36点  
トラック  
①豊川工 36点 ②中京大中京 28点 ③名古屋 24点

フィールド

- ①中京大中京 30点 ②起工 21点 ③名古屋 15点

	種目	記録	氏名	校名	
女子トラック	100m	12.39	山田 恵里	中京大中京	
	200m	25.28	松井香保里	中京大中京	
	400m	55.67	木引悠起子	名女大	
	800m	2.17.76	竹内麻里子	中京大中京	
	1500m	4.27.56	荘司 麻衣	人環大岡崎	
	3000m	<b>9.08.94</b>	Wainaina Beatrice Murugi	豊川	
	100mH	14.19	飯田 美咲	名城大附	
	400mH	1.02.04	大谷友梨恵	至学館	
	3000mW	14.27.69	山本那津紀	豊川工	
	4×100mR	47.57	西川 彩乃 山田 恵里 松井 香保里 鈴木 愛理	中京大中京	
	4×400mR	3.53.16	家田 知佳 中井 朝日 船坂 実来 大谷友梨恵	至学館	
	女子フィールド	走高跳	1.64	北島 菜璃	瑞陵
		走幅跳	5.59	浅井 真子	光ヶ丘女
砲丸投		11.93	高橋 奈美	至学館	
円盤投		35.30	太田 奈穂	光ヶ丘女	
やり投		45.34	高塚 裕子	名城大附	
七種競技		<b>4841</b>	河崎梓穂璃	佐屋	

総合

- ①至学館 68点 ②中京大中京 65点 ③名城大附 32点  
トラック  
①中京大中京 62点 ②至学館 48点 ③人環大岡崎 14点  
フィールド  
①名城大附 20点 ②至学館 20点 ③光ヶ丘女 17点

**理事会等会議報告**

○理事会 平成22年5月21日(金) 愛知県教育会館

進行(外山理事長)

1 協議事項

- ①平成21年度一般概要報告(稲垣)

・登録人数

	20年度	21年度
一般	2575	2802
学生連合	793	830
高校(全日)	6135	6219
高校(定時)	19	21
中学生	5330	6056
合計	14852	15928

※前年度と比較して、全体的に増加しているが、一般と中学の増加率が高い。

- ②平成21年度事業報告(安田)

平成21年度強化委員会行事(北村)

- ③平成21年度収支決算報告書(竹内)

- ④平成22年度事業計画(案)(安田)

平成22年度強化委員会行事(案)(北村)

- ⑤平成22年度収支予算書(案)(竹内)

- ⑥その他

2 報告事項

- ①平成 22 年度愛知陸協役員の変更について
  - ・安田純久 (理事・競技情報処理副委員長)
  - ↓
  - (常務理事・競技情報処理委員長)
  - ・常務理事・財務委員長  
清水康朗 (新任)
  - ・理事・審判副委員長  
櫻井一美 (新任)
- ②平成 22 年度要覧について
- ③2010 年日本ジュニア・ユース選手権大会について
  - ・10 月 15 日 (金)～17 日 (日) 瑞穂公園陸上競技場  
陸連より参加標準記録が提示される
- ④各専門委員会の報告
  - ・強化委員会 (北村・伊藤)  
大阪グランプリ陸上スターター視察報告  
アジア・インターシティー陸上大会への招待について
  - ・記録委員会 (岡田)  
愛知県記録について、09 年記録集の訂正について
  - ・年誌資料・広報委員会 (外山修)  
年間活動計画 (案)
  - ・女性委員会 (脇田)  
全国女性委員会会議報告
- ⑤その他
  - ・平成 22 年度愛知陸協会長表彰受賞候補者の推薦について
  - ・第 70 回愛知選手権大会選手権賞寄贈の依頼について  
男子ハンマー投：室伏重信氏

○評議員会 平成 22 年 5 月 26 日 (金) 愛知県教育会館 進行 (稲垣)

- 1 開会のあいさつ (國分副会長)
- 2 定足数の確認 (稲垣)
  - 加入団体数 (124) 評議員数 (201)
  - 出席評議員数 (31) 委任状評議員数 (132)
  - 合計 163 (81.1%)
  - 愛知陸協規約 第 20 条第 1 項に基づき  
「評議員会が成立することを報告」
- 3 議長選出  
國分副会長を選任
- 4 議事録署名人選出  
議事録作成：櫻井一美・飯田日出男  
議事録署名人：浜島匡彦・森浦 朗
- 5 議案協議
  - (1)平成 21 年度一般概要報告 (稲垣)
  - (2)平成 21 年度事業報告 (安田)
    - 平成 21 年度強化委員会行事 (北村)
  - (3)平成 21 年度収支決算報告書 (竹内)
    - ※監査報告 (鈴木監事)
  - (4)平成 22 年度事業計画 (案) (安田)
    - 平成 22 年度強化委員会行事 (案) (北村)
  - (5)平成 22 年度収支予算書 (案) (竹内)
  - (6)愛知陸上競技協会理事の承認について (外山理事長)
    - ・清水康朗 (常務理事・財務委員長)
    - ・櫻井一美 (理事・審判副委員長)
  - (7)その他
    - 以上、すべての議案が満場一致で承認される
- 6 閉会のあいさつ (夏目東三支部長) (稲垣 裕)

平成 21 年度 愛知陸上競技協会収支決算書

(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

収入総額 114,033,840 円  
 支出総額 96,868,074 円  
 差引残額 17,165,766 円 (次年度への繰越金)

○ 収入の部 単位：円

科目	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	19,191,000	19,190,865	135
加盟金	18,180,000	19,262,500	△1,082,500
補助金	1,229,000	1,225,900	3,100
分担金	40,883,000	40,341,279	541,721
賛助金	400,000	1,386,350	△986,350
交付金	5,737,000	6,457,320	△720,320
広告料	200,000	250,000	△50,000
参加料	18,821,000	20,136,700	△1,315,700
小学生友の会	615,000	627,500	△12,500
雑収入	5,311,000	5,155,426	155,574
合計	110,567,000	114,033,840	△3,466,840

○ 支出の部 単位：円

科目	予算額	決算額	差異
運営費	17,419,000	19,430,706	△2,011,706
事業費※	73,076,000	75,274,518	△2,198,518
負担金	1,908,000	1,662,850	245,150
基本金	500,000	500,000	0
予備費	17,664,000	0	17,664,000
小計	110,567,000	96,868,074	13,698,926
次年度繰越金	0	17,165,766	△17,165,766
合計	110,567,000	114,033,840	△3,466,840

※事業費の内訳 単位：円

科目	予算額	決算額	差異
競技会費	20,512,000	21,801,239	△1,289,239
共催事業費	27,690,000	27,677,577	12,423
派遣費	12,377,000	11,411,215	965,785
強化費	7,876,000	9,495,231	△1,619,231
普及費	4,621,000	4,889,256	△268,256

編集後記

●トラックシーズンが幕を開け、早 3 ヶ月が過ぎた。日本選手権大会での地元出身の室伏広治、室伏由佳、中田有紀三選手の活躍は、愛知の誇りであり、大きな喜びと感動を与えてくれた。続く選手が現れることを期待したい●学校を訪問しての学校紹介も 8 校め。公務多用の中、練習や施設を拝見させてくださり、生徒とともに歩む指導者の熱意と真剣に取り組む生徒の姿にいつも心動かされる●5 年めを迎えた広報誌が、情報誌としてより充実するために、ご意見ご要望をぜひお聞かせください。

編集委員

占部 輝之 大久保真理子 大西 敏功 外山 修  
 中尾 洋一 新美 準人 西垣 完彦 野口 一昭  
 山本 三郎